

「上小っ子」は本校ホームページでも見ることができます。URL <http://www.city.uenohara.ed.jp/uenoharashou/>

<h1>上小っ子</h1>	<h2>NO.7</h2> <p>上野原市立上野原小学校 発行日：平成28年10月25日 発行者：校長 中込 一雄 TEL：62-3104</p> 
---------------	---

学校創立143周年を迎えて

～明治6年(1873年)11月17日創立～

本校は11月17日に143回目の創立記念日を迎えます。創立記念日を前に、創立当時の様子について上野原小学校百年史から紹介いたします。当時上野原は農業が主な生業であり、ことに山野の桑から蚕を飼い、糸を紡ぎ、織物を織り出し、商いをしていました。そのような状況の中、明治5年8月に、政府は我が国初めての国民皆学の理想に燃える教育制度を規定した「学制」を頒布しました。上野原小学校(当時は上野学校)はその一年後に創立されました。ですから、創立はかなり早いといえます。上野学校は明治6年11月17日第1大学区第45中学区第19番校として、保福寺を仮校舎として開校しました。なぜ「上野学校」として「上野原学校」としなかったのでしょうか。それは、学校建築の地名が「上野」と呼ばれていたからだと思います。その頃の通学区域は、上野原村、新田倉、新田、鶴島、沢松でした。しかし、この頃誰でもが入学したわけではありません。入学したのは50～60人で、女子は一人も入学しなかったということです。明治8年には鶴島学校が開校し、鶴島や新田の児童は鶴島学校に入学することになりました。



少し遡り明治6年2月、藤村紫朗が山梨県令として着任しました。藤村県令は14年間、山梨県令として在任し、山梨の近代化に努めました。本校にはこの時期に建築された藤村校舎の写真が残っています。当時大げやきのそばに御嶽神社が建っていたということです。そこに、藤村校舎を建てるに当たり、西シ原の堂屋敷のけやきやお堂の敷石、村中の神社の木や遠くは軍刀利神社の方からも材木を運んだということです。学校に期待する地域の熱意が伝わってきます。

この頃の授業は、まず教師が一区切りずつ唱え、その後について児童が一斉に復唱するという形だったということです。字を読むと言うよりは暗唱でした。このような状況であったため子供たちにとって学校は必ずしも魅力的ではなかったようです。豊かでない家庭にとっては、生活の手助けのために働かなければならない子供たちを一日の内何時間も学校に通わせることは、困ることもありました。上野学校では明治11年3月1日より教室で教科書を展示して、地域の人たちに教科書と授業を参観してもらったこともありました。そして、参観者には教科書と授業について感想や意見を書いていただき、新しい教育に対する理解を深める努力をしました。

今回、本校の歴史の一部を紐解き、地域の先人の熱い思いでこの学校ができたのだと実感しました。そういった歴史や努力を考えると、今日のこの恵まれた環境における日々の教育活動を大切に、充実した教育をしていかなければいけないと身が引き締まる思いです。

自己ベストを目指して

～北都留地区陸上記録会～

爽やかな秋空が広がる18日、北都留地区小学校陸上記録会が開催されました。北都留地区小学校7校が上野原西小学校に集い、各種目で記録を競いました。本校からは6年生全員が出場しました。9月下旬から練習を始め、6年職員を中心に指導してきました。都留文科大学陸上部のみなさんに指導していただいた日もありました。限られた練習時間でしたが、一生懸命練習し、記録も伸びました。当日の目標は「自己ベストを更新する」でした。よい結果を残せた児童も残せなかった児童もいましたが、みんなそれぞれ全力で競技できたと思います。全員に大きな拍手を贈りたいと思います。以下は入賞者した児童です。



★男子★ ■100M 2位市川楓真 4位佐藤操 5位鷹取空 6位飯田拓実 ■60Mハードル 2位土屋元嗣 4位中村奎介
5位水越心優 ■1000M 2位宮坂幸弥 4位徳澤歩 5位白鳥房徳 6位阿部一瑛 ■走り高跳び 2位小野雄輝 3位伊藤知記
4位守屋拓馬 6位増田晶 ■走り幅跳び 1位小倉颯太 2位小川陸 3位中村颯陽 7位水上滉介 ■ボール投げ 1位長田彪
2位畑野秀依 5位長島稜 6位長田海翔 ■400Mリレー 2位(市川楓真 土屋元嗣 中村奎介 小倉颯太)
★女子★ ■100M 3位石田茜 4位守屋花歩 ■60Mハードル 1位佐藤華蓮 4位上條菜玲 ■800M 3位野澤月渚 4位石川桃菜
6位武田麗美 7位網野光里 ■走り高跳び 3位杉田帆奈美 7位西本季央 ■走り幅跳び 4位由村姫菜乃 6位橋本亜美
■ボール投げ 2位尾形千夏 3位片伊木うらら 7位田中咲衣 ■400Mリレー 2位(石田茜 由村姫菜乃 守屋花歩 杉田帆奈美)

11月の予定

日	曜	主な予定
1	火	体重測定
2	水	学校集会
3	木	文化の日
4	金	芸術鑑賞教室 けやき学級親子参加授業
5	土	
6	日	
7	月	
8	火	
9	水	校内研究
10	木	公開研究授業 4校時授業
11	金	
12	土	
13	日	
14	月	クリーン作戦
15	火	短縮4校時 北教研
16	水	幼保小交流会 校内研究 集団下校
17	木	学校創立記念日
18	金	PTA 執行部会
19	土	
20	日	県民の日
21	月	
22	火	
23	水	勤労感謝の日
24	木	委員会活動 2年サツマイモ祭り 6年アルバム撮影
25	金	児童会役員選挙 学校委員会
26	土	
27	日	
28	月	避難訓練
29	火	ふれあい給食
30	水	代表委員会 校内研究

体験から学ぶ、校外学習

10月の爽やかな季節に各学年の校外学習が行われました。1年生は富士湧水の里水族館で淡水魚見学とドングリ拾い、2年生は帝京科学大学で馬やへびなどの動物とのふれあい体験、3年生は秋山地区から西原地区までの市内巡り、4年生は伝統工芸館での貴石を使った写真立てづくりと勝沼でのブドウ狩り、5年生は八景島アクアミュージアムと日産自動車追浜工場の見学、6年生は富士山世界遺産センター見学と富士山五合目散策でした。どの学年も教室では学べない多くのことを体験から学べたのではないのでしょうか。「聞かないことは聞くに及ばず、聞くことは見ることに及ばない。また、見ることは理解することに及ばない。しかし理解することは、それを実践することには及ばない。」という中国の荀子の言葉があります。何よりも体験することが大切ということですね。

1年生は魚の水槽の前で興味深く観察していました。



2年生は、いろいろな動物とふれあうことができました。



3年生は西原の一宮神社の杉が手をつないで何人分あるか調べました。



4年生はブドウをおなかいっぱい食べることができました。



5年生は八景島の大きな水槽で鮮やかな海の魚を見学しました。



6年生は富士山五合目でガイドの皆さんから富士山の話をお聞きました。



5年八重山学習に向けて ～都留文大、北垣先生の授業～

5年生は「総合的な学習の時間」で八重山をテーマに学習しています。その一環として都留文科大学の北垣先生を講師にお招きし、野生動物の学習をしました。北垣先生はNHKの「ダーウィンが来た」という番組でカワネズミをテーマにした放送の時、全面的に関わった野生小動物の専門家です。

授業は学級毎に行われ、ムササビ、リス、ヒミズ(最小のモグラ)などの動画を見たり、剥製や骨格標本に触れたりしました。子供たちは大変興味を持って臨み、目が輝いていた45分間でした。「どんな生き物も他の生き物にはない、素晴らしい能力を持っています。これは、一人一人の友達も同じです。」という授業の最後の言葉は、子供たちの心にも強く響いたことと思います。



ムササビの毛並みはふさふさしていて気持ちいい感じが良かったです。

スクールカウンセラーのお知らせ

本校では定期的にスクールカウンセラーの先生に来ていただいています。児童生徒に対する相談のほか、保護者及び教職員に対する相談、教職員等への研修、事件・事故等の緊急対応における被害児童生徒の心のケアなど、様々な役割を果たしています。是非、活用してください。今後の来校日は以下の通りです。事前予約が必要ですので、ご希望の方は、藤巻教頭または担任にご連絡ください。

11/7 (月) 13:00~18:00 11/24 (木) 13:00~18:00 12/5 (月) 13:00~18:00
12/12 (月) 9:00~17:45 1/23 (月) 13:00~18:00 2/15 (水) 13:00~18:00
2/24 (金) 9:00~17:45 3/1 (水) 9:00~17:45

校長室の窓



「勉強は朝が効果的？」という見出しの新聞記事がありました。

1日の学習する時間帯によって記憶力に違いがあり、体内時計に制御されていることがマウスの実験で分かったそうです。人に当てはめた場合、朝に勉強すると記憶が長続きしやすいそうです。研究した東大の清水貴美子助教は「体内のリズムを利用すれば、学習効果を上げられるかもしれない」と話しています。

そういえば、小学生の頃、漢字のテストを翌日に控えた夜、眠いのを我慢して必死で漢字を憶えた時より、当日の朝、憶えた時の方が点数が良かったような気がします。ただ、朝憶えようと早々床についたにもかかわらず寝過ぎてしまい、「時間切れ、アウト!」という苦い経験もあります。その辺のリスクも考え、より効果的に学習に取り組ませたいものですね。